



とくていひ えいりかつどうほうじん  
特定非営利活動法人

# 自立支援センター おおいた

だいごう  
第3号

はっごうねんがつび ねん がつ にち  
発行年月日2003年12月1日

はっごうしゃ  
発行者

じりつしえん  
自立支援センターおおいた

へんしゅうたんとうしゃ  
編集担当者

にしかわ ふみこ まつうら みのる  
西川 扶美子 松浦 実  
かわの りゅうじ おかむら しょうご  
河野 龍児 岡村 省吾

## とうじしゃ 当事者エンパワメント

## シンポジウム in 大分



シンポジウムの討論の様

へいせい ねん がつ にち ど おおいたけんりつしやうがいきやういく  
平成15年10月4日(土)大分県立生涯教育センター・  
多目的ホールにて全国自立生活センター協議会主催で、  
当事者エンパワメントシンポジウムを開催致しました。

しゅきいしゃ だいいひやうなかにししやうじし あいさつ ほじ こんかい  
主催者の代表中西正司氏の挨拶で始まり、今回のコーディネーターで熊本県議会議員の平野みどりさんの自己紹介、そして当事者団体との関わりなどの話しをして頂きシンポジウムが進行していきました。

こうせいらうどうしやうしやうがいはけん へんくし ぶしやうがいはふくし  
シンポジストに、厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課長の高原弘海氏、社会福祉法人シンフォニーの村上和子氏、ヒューマンネットワーク熊本の代表で弁護士の東俊裕氏(障害当事者)、精神障害者も暮らしやすい街を自指す・くるめ出会いの会の中村蘭み氏、ピープルファースト熊本の

たざきかずのりし しやうがいとうじしゃ ぜんこくじりつせいかつ  
田崎和範氏(障害当事者)、全国自立生活センター協議会の中西正司氏(障害当事者)の5人の方々を迎え、各テーマ事に話して頂きました。

さいしょに たざきし なかむらし かくだんたい げんざいと く しやうがいしゃ しせつ だつせいかく ちいきせいかつ いこう  
最初に、田崎氏と中村氏に各団体が現在取り組んでいる障害者の施設からの脱却と地域生活への移行、それに伴ない発生するそれぞれが抱える課題、今後さらに必要となるサービスをテーマにお話しして頂き、次に高原氏に行政の立場からの当事者の提言を聞いて、政策作成過程への障害者の参画(特に精神・知的)、在宅移行で必要となる施策と財源について、村上氏にはサービス提供者として今後必要となる地域サービスとその確保、東氏・中西氏には当事者として、支援者として、当事者をエンパワメント(自分自身で強くなっていくこと)していくための政策論・差別禁止法、地域ネットの必要性等、色々なお話しをして頂きました。

きゅうけい はさ どうろん はい 支援ひ どうていやく させるか ちいき ケアの具体的なスケジュール・各団体の取り組み・厚労省の現在の状況などを議題に激しい討論を交わしました。

みじか じかん なか こんかい きやうしやう おおいただけのシンポジウム開催ということもあり、九州各地から多くの参加者を集め、実に内容の詰まったシンポジウムになりました。

## 第2回ピア・カウンセリング集中講座開催！



2日目の交流会の風景



講座受講者と介助者の皆さんとの集合写真  
「みなさん、おつかれ様でした」

平成15年9月26日～平成15年9月28日に、太陽の家コミュニティセンターに於きまして、自立支援センターおおいた主催「第2回ピア・カウンセリング集中講座」が開催されました。

リーダーに、ヒューマンネットワーク熊本の山下紘史さん・サブリーダーに大阪府にお住まいの、フリーのピア・カウンセラーの犬友ともみさんをお迎えいたしました。

今回は順調に参加申し込みがあり、参加者は県外の方も含めて12名で行われました。

プログラムは前回少なかった、セッションを多く取り入れて感情を開放する方法を学びました。二人一組になり、タオルを使用して引っ張り合っただけで感情を外へ出す方法やどちらか一人が「そうだ！」もう一人が「違う！」と大声で言いあったり、手や足など身体全体で自己主張する事を行いました。

これは、言葉がうまく出せない人の感情表現の手法として、とても有効だと思いました。

2日目の交流会ではサブリーダーの犬友さんの粋な計らいで、大阪風たこやきを食ったり、ゲームをしたりして楽しい一日を過ごしました。

最終日は、自立生活プログラムを少し取り入れ、施設での介助を改善してもらえようとする時の交渉の仕方を例にして、意見を出し合いました。

最後に全員で握手をして閉会しました。

## 第1回泉都別府まちづくり支援

### 事業の補助金交付



補助金交付の授与式

「とっても緊張したけれど、とても良いセレモニーでした」

この度、別府市のまちづくりに寄与する事業への補助金が交付されることとなり、当団体が企画した「バリアフリー探検調査と情報公開」事業もその認定を受け、平成15年10月2日に別府市コミュニティセンター多目的ホールで開催された「第1回泉都別府まちづくり支援事業の補助金交付式」へ行って来ました。

この補助金を受けるまでの道程は長く、第1次審査は書類選考で第2次審査はたくさんの参加者や審査員の前での公開でのプレゼンととても大変でした。

現在はこの補助金を使い、別府市の観光施設等のバリアフリー調査とそれらの情報をまとめたホームページ作成に担当職員は忙しく街中を奔走しております。

この情報により、高齢者や障害者、そしてそのご家族の皆さんが安心して別府へ来ていただけたらいいなあ～。



## 第1回ピア・カウンセリング公開セミナー開催!

平成15年11月9日(日)11:00~16:30に、太陽の家コミュニティセンターに於きまして、島根県のCIL松江よりピアカウンセラーである中村 宏子さんをリーダーに迎え「第1回ピア・カウンセリング公開セミナー」が開催されました。

通常、ピア・カウンセリングは、障害者のみの参加で行われるのですが、今回は公開セミナーということもあり、25名というたくさんの方々が集まりとても有意義な時間を共有できたようでした。

セミナーの内容は、中村 宏子さんのお話(「ピア・カウンセリングがなぜピア(仲間同士や同じ境遇にいる人同士)で行われるのか」、「自分の気持ち、本当の気持ち」、「抑圧について」など)が中心で、その他、障害者・健常者の枠組みを越えて参加者の皆さんが心の中に持ついろいろな意見も交わされ、いつものピア・カウンセリングとは一風変わったものとなり、参加者それぞれが多岐のことに感じたセミナーとなったようでした。



公開セミナー講座風景

## エスコートゾーン利用者意識調査実施!

視覚障害者の安全な道路横断を確保する為、点字ブロック模様の突起物を横断歩道に設置したエスコートゾーンの整備が各地で進められており、現在、警察庁においてこのエスコートゾーンの統一した基準の検討が行われています。

今回、その基礎的データ収集のため、平成15年11月3日(月)14:00~15:30に、大分市の駅前にある竹町入口(アーケード入口)とキ八前交差点(スクランブル交差点)の横断歩道に設置されているエスコートゾーンの体験が行われ、体験者である視覚障害者や、車椅子を使用している身体障害者(それぞれ6名程度)の方々への意識調査が行われました。

当日の天候は小雨が降るあいにくの空模様・・・。連休の終日とも重なり街中は人出も多く、歩行者を避けながらの調査となり少し大変でしたが、1時間半程の短い時間の間に多くの質問の答えがデータとして集められとても充実した調査になったようでした。



モニター調査風景

# パソコンの支給制度について

<p><b>大分市</b> 身体障害の方</p> <p>1種1級で文字を書くことが困難な上肢機能障害の方、または言語障害と上肢障害が重複している2級以上の人。ワープロを以前に支給された方は対象外です（5年以上経っていれば補助の対象になります）</p> <p>視覚障害の方</p> <p>パソコン本体は補助の対象にはなりません、周辺機器やソフトは補助の対象。詳しくは窓口へ（事前に、どういうものが必要かを調べて来て下さい。）</p>	<p><b>別府市</b> 身体障害の方</p> <p>1種1級で文字を書くことが困難な上肢機能障害の方、または言語障害と上肢障害が重複している2級以上の人。ワープロを以前に支給された方は対象外です。（5年以上経っていれば補助の対象になります。）</p> <p>視覚障害の方</p> <p>補助の対象者ではありません。 （身障協に、視覚障害者の方も使用可能なパソコンがありますので、ご使用下さい。）</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

大分県内在住の方へ・・・パソコンの周辺機器についての詳しい内容は別紙をご覧ください。



財団法人さわやか福祉財団・日本自転車振興会より助成を受け、アシスト付自転車をいただきました。どうもありがとうございました。

財団法人さわやか福祉財団 日本自転車振興会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8      〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番15号

日本女子会館4階      日本自転車振興会

TEL(03)5470-7751      総務部総務課  
FAX(03)5470-7755      TEL(03)3582-3311



## 《編集後記》



今朝は、ガラス窓にきれいな霜の花が咲き街にはジングルベルが流れる季節ですね 皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、皆さんお待ちかね？の第3号が出来ました。とても忙しい毎日の中でしたが記事が豊富で、あっという間に完成いたしました。

**取材中の出来事 (^ ^)**

休憩の時間にコーヒーを飲もうと4人でお店に入り、エスプレッソを頼んだら、小さいカップに少量しか入っていませんでしたので4人とも目が点！になるほど驚いて思わず店員さんに「これ間違いではないでしょうか？」と聞きに行っていました。きっと聞かれた店員さんも目が点！かなあ？コーヒーの味も気持ちも苦かった...(-\_-)

## 特定非営利活動法人

自立支援センター おおいた  
〒8740014大分県別府市亀川浜田町33組  
サクセスハイツマルコ 101  
TEL 0977(67)4880 FAX 0977(67)4924  
<http://www.jp999.com/333/>  
E-mail333@jp114.com

私達は、利用者主体の介助サービスをしております。主なサービスは下記の通りです。

訪問介助サービス    ピア・カウンセリング  
自立生活プログラム  
福祉各種無料相談( 0120-110-699)  
自立生活・バリアフリーセミナー  
バリアフリーコンサルタント  
(ユニバーサルデザイン)

